

放課後児童健全育成事業(学童保育)の充実

花水小校庭に本市初の公設施設を整備へ

議員 今回、花水小学校区の学童保育施設を公設で設備していくための経費が、一般会計補正予算の中で計上されているが、これは、長年の課題解決に向けて大きく前進したものと考える。今回提案されている花水小学校区の施設では、床面積を一人当たり一・六五平方メートル、これに定員を二割増



やしたものに、事務共用スペース三〇平方メートルを加えた規模となっている。今後も公設での施設整備に当たっては、同じ内容で進めていく考えなのか。

議員 今後の施設設置の優先度はどのような考え方で決めていくのか。

議員 学校の空き教室への設置は考えているのか。

議員 全児童対象の放課後保育、学童保育事業の内容の第三者評価制度、指定管理者制度の導入等も検討すべきではないのか。

議員 本市は、過去に悲惨な戦争体験をしている。その後、さまざまな平和推進事業を行ってきたが、現在過中の自衛隊イラク派遣について、市長はどのような意見を持っているのか。

議員 自衛隊のイラク派遣に賛成する意見は、現時点では無理と考える。安全で安心できる良好な学童保育環境の確保が求められていることは承知しており、施設環境や近隣との関係等を考慮に入れながら、専用施設の手当てが可能かどうかの調査・検討を重ね、実現可能な学区から学校用

意見書を出したいと考えているので、今回の請願は採択したいという意見があった。一方、イラクにおける主要な戦闘はとどめ、国際社会は安保理決議一四八三号の要請に応じて、現在三

健康づくりの拠点

仮称保健センターの早期建設望む

議員 新しい保健センターの建設に当たっては、本市の保健センターに求められる特色は何かという議論が大切である。健康づくりの拠点として、早期実現に向け明確な基

の。本構想の策定が必要と思うが、市の見解を伺いたい。また、建設に当たり多岐から意見を聞く手段をどう考えているのか。

議員 建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

鶴巻温泉駅 バス路線

事業者の撤退意向にどう対応

議員 神奈川中央交通株から「鶴巻温泉駅」東海大学間のバス路線を廃止したい旨の意向が市に伝えられたと聞いている。この路線は、平成五年に地元要望により開設されたものであり、真田・北金目地区唯一の生活交通路線として、通勤、通学時の利用や高齢化社会への対応などからも存続が望まれる。市は、現状

をどう考えているのか。道路部長 十四年度に行った利用実態調査によると、この路線は一台当たりの平均乗車人員が平日八・五人、土曜日六・四人、日曜日三・二人という結果であり、朝夕に利用が集中していた。バス事業者が路線を廃止する場合、県生活交通確保対策地域協議会に路線撤退の意向を申し出ることに

なっているが、その前段階として該当する自治体と協議することにもなっている。バス事業者から本市に対しては、この路線が赤字であるため撤退したい旨の話があり、現在協議を行っている。市の考えは、この路線が廃止されると通勤・通学をはじめ沿線の方々の日常生活に支障をきたすと考えており、何らかの形で存続していくべき路線と

議員 バス路線の廃止に係る基本的な基準はあるのか。道路部長 国土交通省令によると路線廃止の判断基準は、①当該路線に他社の路線がある場合、②区間内のすべてのバス停から三〇〇メートル以内の他のバス路線がある場合、③平均乗車人員が五人未満の場合、④地元、市、バス事業者との協議が調った場合、以上となっているが、本市では、廃止区間に教育・福祉施設や公共施設がある場合には、その状況に応じて対処することを基本としている。



現在の保健センター(中里)

議員 仮称保健センターの早期建設望む。道路部長 建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

建設の基本的考えが庁内決定しており、その考えが基本構想であると認識している。また、現在、三師会等の関係機関から意見聴取を行っているが、PFI導入可能性調査が終了して事業手法

自衛隊のイラク派遣 市長の見解聞く

議員 本市は、過去に悲惨な戦争体験をしている。その後、さまざまな平和推進事業を行ってきたが、現在過中の自衛隊イラク派遣について、市長はどのような意見を持っているのか。

議員 自衛隊のイラク派遣に賛成する意見は、現時点では無理と考える。安全で安心できる良好な学童保育環境の確保が求められていることは承知しており、施設環境や近隣との関係等を考慮に入れながら、専用施設の手当てが可能かどうかの調査・検討を重ね、実現可能な学区から学校用

意見書を出したいと考えているので、今回の請願は採択したいという意見があった。一方、イラクにおける主要な戦闘はとどめ、国際社会は安保理決議一四八三号の要請に応じて、現在三

請願の審査概要

十二月定例会では六件の審査が行われた。自衛隊のイラク派遣に関する請願では、現在のイラクでは、子供や女性が非常に辛い生活を送っている状況と思われる。そのようなことから人道の支援で、自衛隊の派遣が必要ではないかと考える。請願者は、復興に力を注げる時まで待つべきだと言っているが、イラクの人たちはもう待てないのではないか。できるだけ早く支援の手を差し伸べるのが、日本国民の姿だと思われ、本請願は不採択としたという意見があった。一方、今までも自衛隊を派遣し、その国の復興に関していろいろな形で寄与してきたと思われているが、今は行く時期ではない。今派遣すると、自衛隊員を危険な目に遭わせることになる。しかし、イラクに派遣して復興に力を注ぐことは、日本の役目だと思われているので、時期的なものを持ってしかるべきと考える。したがって、本請願は採択したいという

意見書があった。採決した結果、採択すべきものとなり、本会議でも採択と決定した。自衛隊イラク派遣の中止を国に求める請願と「自衛隊をイラクに派兵しないこと」の意見書を国に提出することを求める請願および自衛隊のイラク派兵に反対する請願の三件については一括審査を行った。小泉内閣はイラクへの自衛隊派遣計画を作成したが、この計画は国際社会の道理に合わず、米軍の侵略戦争に加担するものだと思う。日本は憲法第九条にのっとりた実施をすべきである。この派遣自体が、日本の憲法そのものを踏みにじる今までのような新たな挑戦と考える。まして、今まで政府は、戦闘地域には送らないと言ってきたが、派遣計画の中では武器を携帯し、新たな戦闘地域にも派遣するなど、大きな問題と考える。現在、全国の首長、議会から決議が出され、意見書も採択されている。したがって、本市もぜひ国に

とが求められている。議員 自衛隊のイラク派遣に対して、意見書を出すなど具体的な行動をすすめる考えはあるのか。市長 タイミングを逃さず、関係機関へ意見を述べていきたいと考えており、準備を進めている。意見書を出したいと考えているので、今回の請願は採択したいという意見があった。一方、イラクにおける主要な戦闘はとどめ、国際社会は安保理決議一四八三号の要請に応じて、現在三